

「明るく元気ないわき市」を目指して 復興の総仕上げと「いわき新時代」への挑戦



平成三十一年新春市長記者会見を一月七日に、市役所で行いました。清水市長は、本市の市政運営について年頭所感を述べ、今後のまちづくりなどについての考え方を明らかにしました。

清水市長は、昨年の本市における明るい出来事を振り返るとともに、震災復興土地区画整理事業の工事完了や、医療センターの開院など、復興・創生の着実な取り組みが形となり、市民の皆さんにも復興・創生を実感していただくことができたことと述べました。

今後の市政運営については、復興の総仕上げや、いわき新時代への挑戦と魅力あふれるいわきの創生などについて、考えを明らかにしました。

人口減少下における持続可能なまちに向けて、本市

さらに、復興の総仕上げといわき新時代への挑戦に向けては、施策の重点化や公共施設の適正化を図るなど、将来にわたり持続可能な市政運営に努めていきます。



明るく元気ないわき市を目指す

生き生きと輝き、住みやすく・住み続けたいまちとなるよう、今後の市政運営に取り組んでいきます。

ふるさと*いわき*の復興の総仕上げ

ふるさと*いわき*の復興の

総仕上げに向け、被災者の生活再建や、原子力災害への対応に継続して取り組んでいきます。

ふるさと*いわき*の復興の総仕上げ

○被災者の生活再建

- ・生活再建に向けた支援施策などについて改めて周知を強化するとともに活用を促進
- ・復興ランドデザインを具現化
- ・地域コミュニティの再生を支援
- ・災害公営住宅周辺の道路を整備
- ・沿岸部から避難所などまでの避難路を整備
- ・津波被災地域の移転先における難視地域を解消
- ・四ツ倉駅東西の連携強化に向けて跨線人道橋を継続して整備
- ・海水浴場に新たな魅力を創出
- ・薄磯地区に震災メモリアル拠点施設を整備



震災メモリアル拠点施設 (イメージ)

○原子力災害への対応

- ・除去土壌などの搬出への対応
- ・リアルタイム線量測定システムの配置見直しへの対応

いわき新時代への挑戦と魅力あふれるいわきの創生

復興の先を見据え、新・市総合計画基本計画における重点戦略「人づくりとまちづくりの好環境を生み出す」

「市民からも市外からも選ばれるまちをつくる」「地域に培われた生業を磨き上げ、伸ばす」に即した取り組みを進めていきます。子育て支援のさらなる充実や、教育先進都市の実現のほか、都市イメージの向上を図るシティーセールスの推進、将来を見据えた産業振興策と雇用対策の一体的な推進などに取り組みます。



復興の先を見据えたまちづくりを推進

いわき新時代への挑戦と魅力あふれるいわきの創生

1 人づくりとまちづくりの好環境を生み出すために

○子育て支援のさらなる充実

- ・子育て・母子保健コンシェルジュの増員などにより相談機能を強化
- ・子育てと就労の両立支援に向けた病児・病後児保育の実施箇所を拡大
- ・産後ケアの拡充に加え、新たに短期間・夜間預かりの導入を推進

○教育先進都市の実現

- ・小・中学校にエアコンを計画的に整備
- ・三和地区で小中一貫教育に対応した新校舎を建設
- ・次世代の人材育成を図るため、いわきアカデミア推進協議会との連携強化や、生徒会長サミット・いわき志塾の取り組みを推進
- ・本市に定住・就職する大学生などの人材還流を図るため、奨学金の返還を支援

○福祉・医療の充実

- ・高齢者の介護予防と居場所づくりに向け「つどいの場」を充実
- ・地域医療を支える人材確保を推進



シルバーリハビリ体操や会食などを行うつどいの場



いわき新時代へ挑戦するためには、魅力あふれるいわきを創るという思いを一つにし、市民・事業者などの皆さんの英知を結集していただくとともに、一人一人が共創に向けて身近な取り組みを実践し、積み重ねていくことが重要です。各自に始まり、各地域間での共創の取り組みの輪を全市的に拡大し、ふるさといわきをみんなで大切に創り、育て、伝えていく機運をさらに高めていくため、本年から三つのテーマについて重点的に取り組みを進めていきます。

共創による重点的な取り組み

共創による重点的な取り組み

○国際的なスポーツ大会を本市の未来につなげる

- ・本市出身パラリンピアンによる講演会を実施
- ・東京2020オリンピック競技大会新種目を身近に感じることができるよう、スケートボード場を整備
- ・本市でラグビー国際大会へ向けた事前合宿を行う予定のサモア独立国をはじめ、本市を訪れる方々とお互いの文化や物産などへの理解を深める交流事業を推進
- ・復興状況を含め豊富な地域資源を「いわきの魅力」として国内外に発信
- ・健康増進や共生社会の実現にもつながるスポーツ・文化の振興など、総合的な取り組みを推進

○健康長寿の実現を目指す

- ・健康増進に積極的に取り組む地域や企業を支援
- ・飲食店などへの受動喫煙防止に向けた普及啓発を促進
- ・食の面から健康を捉える食育を推進

○将来を見据えた次世代エネルギー社会を構築する

- ・安全・安心を確保しながら、風力等の再生可能エネルギーや石炭ガス化複合発電などでエネルギーを「創る」、バッテリーや水素を活用してエネルギーを「貯める」、車両輸送・燃料電池・防災用として「利用する」という次世代エネルギーの循環を実現
- ・燃料電池車等の導入支援など、次世代エネルギーの普及啓発を推進
- ・下水汚泥等から発生するバイオガスなどの利活用に向けた可能性調査を実施
- ・地域の技術力・人材力の向上と併せて風力関連産業の集積を促進

平成31年新春市民交歓会を開催

平成31年新春市民交歓会を1月7日、パレスいわきで開催し、市民の皆さんや市内の事業者の方々など約530人が参加しました。

同交歓会では、スパリゾートハワイアンズ・ダンシングチームによるフラダンスの披露や、鏡開きなどを行いました。

参加した皆さんは、本年のお互いの健勝とさらなる飛躍、そして本市の発展を祈念していました。



お互いの健勝を祈って鏡開き

いわき市民の健康づくり等に関する連携協力協定を締結

市は、1月15日に、一般社団法人いわき市医師会および株式会社ミナケアと同協定を締結しました。

同協定に基づき、医療費および健診結果などの分析手法や結果の共有、健康課題の把握などに取り組み、今後の健康増進施策などに活用していきます。



健康増進と健康長寿実現のため協定を締結

2 市民からも市外からも選ばれるまちをつくるために

○都市イメージの向上

- ・本市の魅力伝え、都市イメージの向上を図るため「フラシティいわき」をブランドメッセージとしたシティセールスを推進

○文化・スポーツにおける魅力の創造

- ・歴史伝承の重要性を踏まえ、今後の文化政策の在り方について検討
- ・市内におけるトップスポーツイベントなどの開催を支援
- ・海岸線を走る自転車道「いわき七浜海道」などを活用したサイクルツーリズムの可能性について検討
- ・豊富な地域資源を活用し、アウトドアスポーツを推進
- ・第10回の記念大会となる「いわきサンシャインマラソン」などを通して、本市の魅力をPR
- ・スポーツツーリズムやスポーツと医療が一体となったヘルスケアモデルを構築
- ・Jリーグ入りを目指すチームの動向や、市民の皆さんの意識の高まりなどに留意しながら、スタジアムを中心としたまちづくりについて調査・検討

○市街地や中山間地域の魅力の創造

- ・いわき駅並木通り地区市街地再開発事業を推進
- ・各地域の特性を生かしたコンパクト・プラス・ネットワークの形成に向けた取り組みを実施
- ・地域社会の維持および地域資源の磨き上げを行うため、地域おこし協力隊や集落支援員などを配置
- ・暮らしを下支えする農林業を振興
- ・小川支所庁舎整備を推進
- ・廃校リノベーションや、空き家・空き店舗の有効活用を推進

3 地域に培われた生業を磨き上げ、伸ばすために

○農林水産業

- ・いわきワイナリーで生産されるいわきワインのブランド化をはじめ、農産物の6次産業化を支援
- ・本市農産物の魅力や安全性を発信するため、農業生産工程管理（GAP）の取得を支援
- ・「常盤もの」のPRや消費の拡大を促進するため、魚食の普及を促進
- ・林業の振興や森林保全に向けた森林境界線の特定を推進

○商工業

- ・いわきバッテリーバレー構想を推進するため、電気自動車（EV）の普及などの取り組みを強化
- ・魅力のある雇用の場を確保するため、本社機能移転などに係る奨励金制度や税制優遇制度を活用した誘致活動を引き続き実施
- ・いわき四倉中核工業団地第2期区域への企業誘致や早期操業を促進



フラガールのふるさとである本市で開催されているフラガールズ甲子園



市内外から多くの参加者が集ういわきサンシャインマラソン



好間町にある農福商工連携・着地交流体験型施設のいわきワイナリー